なんだろう

あの青に

手をひたしたい

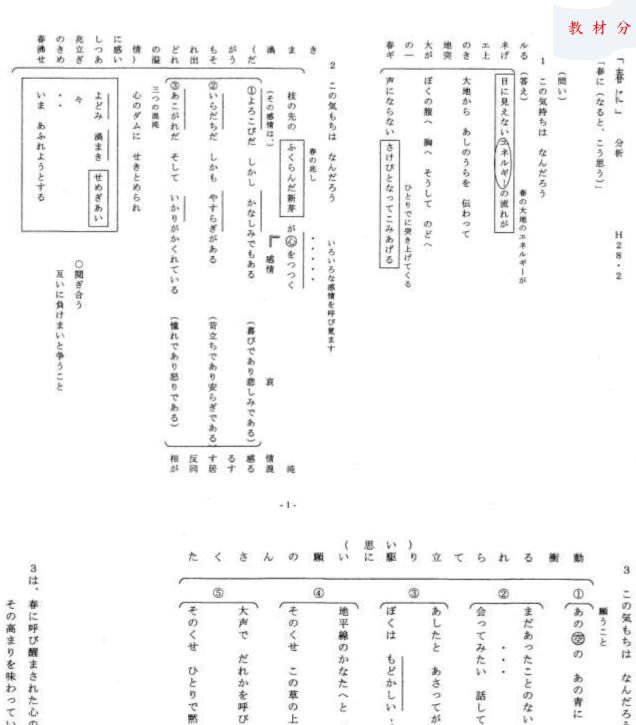
空へ

Į, v)

すべての〇と

人へ

ひ行 た動 すし らた



春に呼び醒まされた心の高まりのままに行動したい自分と そのくせ ひとりで黙っていたい そのくせ この草の上でじっとしていたい 会ってみたい 話してみたい 大声で だれかを呼びたい 地平線のかなたへと あしたと あさってが もどかしい 歩きつづけたい 一度にくるといい じっと味わってもいたい この春を静かに感じていたい 沸き立つ心で動き出したくて たまらない。 じっとして 誰かに 果てへ ひとりで しかし特て 逸る心をもって (行動 行動 1 Ł 1 ٤

その高まりを味わっていたい自分

①隷嘆の反復としての解釈 この気もちは なんだろう

1+2+3 とあらゆるものを動かすのだろ うか。 どうして春は、

このようにあり 春に

②問いと答えとしての解釈

そして私の答えは、 (なったら)

どちらとも読める詩ではないかと考えられる。

なぜなら、 かし、私は今回はあえて問いと答えとしての解釈をとりたい。

①この作品の取り上げ方が、

「未来に向かって」という題がついており、今新しい世界に飛び

立とうとする者たちへのはなむけであること、

②第二連の 「よろこび四」「いらだち四」「あこがれ四」という表現に、 問いへの答えだと

いうことが顕著に表れているということ

③1~3は今、 4 12 せめぎあった後の未来、だから今は書かないと解釈できること。

春の沸き立つ思いを詠んだ詩

- 3 -

導

指

「春に」

H 2 8

13

2

よむ 全文個読2人

とく ○繰り返しの文を見つけて四つに分け、番号をつけましょう。

○この詩の季節はなんでしょうか (題を書き) 「冬」「雅」 なら「冬の終わりから春の始め」)

〇「春になると

○「春になると」どんな気持ちになるのか考えてみましょうというのです。

本のつぼみはどうなりますか。 単の生き物たちはどうなるでしょうね。 熊はどうします? 小川は氷がとけて流れ出す。

小鳥が歌い出す

(あこがれ いかり)
(あこがれ いかり)
なもの心も揺り動かされて、どんな気もちになるのでしょうか。
私たちの心も揺り動かされて、どんな気もちになるのでしょうか。

そういうのをまとめて感情と言います。 をして、私たちに、どんな願いを呼び酸まさせると言っているでしょうか。 会ったことのないすべての人に会いたい、話したい かしたとあさってが一緒に来るといい 単平線のかなたへと歩き続けたい りとりで黙っていたい ひとりで黙っていたい

教材

分

全文を書いて、春になると、どんな気持ちになるのか詳しく考えていきましょう。手引

六 Ŧi, よむ 個號一人

音読

四

かく 全文視写

○難しい言葉はありませんか。
○難しい言葉はありませんか。

かなた・・・・越えた先、むこうもどかしい・・・・「青くなるように」ひたす・・・・(青くなるように) ・・・(青くなるように) 十分につける

又の分 (「この気もち」の上に間と板書)

誰が誰に聞いているのだろうか (谷川さんが自分に)

(目に見えない~さけびとなってこみあげる)これが聞いなら答えはどこか。

(枝の先の~いまあふれようとする)2つめの問いの答えは?

(あの空の~黙っていたい)ょつめの問いの答えは?

「無い」と言ったら「無いという答え」後で考えようね ともしも4つめの答えはと尋ねられたら、「あるかい」と聞い返す。

(目に見えないエネルギーの流れ) ○1の答えから見てみよう (春の大地のエネルギー)

(おさえようとしても、おさえきれずに突き上げてくる)「こみあげる」というのは、どんなふうに来るのか。

(1は突き上げる「エネルギー」のこと と板書)

○2の答え ここで春の息吹きを表すものは何か (枝の先がふくらんだ新芽)

(喜び)(○で囲む)

(かなしみ) (~~~~ とサイドライン)

(いらだち) (○で囲む)

ほかには? (やすらぎ)(~~~~ とサイドライン) とサイドライン)

(あこがれ)

- 2 -

(いかり) これも単純な憧れではない。中に何をかくしたあこが

(よどみ、渦まき、せめぎあっている、あふれようとこういうさまざまな感情が心の中でどうなっているの あふれようとしている)

ごちゃごちゃ入り乱れている、つまり混沌の中にある。

○3の答えを見よう

い」「じっとしていたい」「呼びたい」「黙っていたい」・・・「たい」「たい」「たい」「でからしたい」「会ってみたい」「話してみたい」「くるといい」「歩き続けた「ひたしたい」「会ってみたい」「話してみたい」 (願い)(ひたしたい等サイこれはまとめて言うと何か。 い)(ひたしたい等サイドライン・願いと板書

C

○大声で叫びたいけど黙っていたいとか 相反する気持ちが 与き続けたいけど、じっとしていたい とか 優いはどうか。願いの中に混沌はないのだろうか。○大地のエネルギーを受けて沸き立つ感情は混沌としていた。

相反する気持ちがある

感情が混沌なら、願いも混沌の中にある。爆発しそうなさまざまな願いがある。相反する願いがあって、それぞれがもっともなんだ。

Oきて、 では、この答えは誰が書くのだろうか。さて、4の答えについて考えてみよう。 作者の答えはない。

選び取ったとしても全てそれで良いのだという作者からのエールなのだと私は選び取ったとしす春に、さあ君はどこに向かうか。どこにでも進め。どの答えを君たち一人一人なのだ。書くのはあなたの答え。選び取り、決めて書くのは君たち一人一人が書くんだ。 考える。

指

問この気もちはなんだろう

大地からあしのうらを伝わって 目に見えないエネルギーの流れが

感情 願 するばくの腹へ胸へそうしてのどへだながらあしのうらを伝わっ 2 4 3 声にならないさけひとなってこみあける この気もちはなんだろう 地平線のかなたいともきつづけたい 枝の先のふくらんだ新芽が心をつつく 大声でだれかを呼びたい ぼくは もどかしい まだ会ったことのないすべての人と よどみ 渦まきせめぎあい そのくせひとりで見っていたい 会ってみたい話してみたい ようこひだ しかし かないみでもある この気もちば なんだろう そのくせこの草の上でしていたい あしたとあさってが一度にくろといい あの空のあの青に手をひたしたい いのグムいせきとめられ この気もちはなんだろう いまあるれようとする めこがかた そして いかりが かくれている らはしいしかもやすられある